丸刈り新聞

編集者　工 修哉　若杉 旭浩　坂口 翔大



甲子園特集

有明旋風

雪辱果たし甲子園へ！！！

甲子園。全国およそ３７４６校の中から４９校のみが出場できる夏の風物詩。熊本県では５９校の中から1校のみが甲子園に出場できる。確率にしておよそ1．９６％。残りの９８．３１％の敗北の上に僕たちは立っていた。勝ち残り、甲子園出場を掴んだ。その甲子園に出場した時の記録をここに残したい。暑い日々だった。甲子園出場を決めた時の感動が今も胸に残っている。何もかもを犠牲にしてたどり着いたあの甲子園。いままでの苦しかった日々はこの時のためにあったと確言している。甲子園までの期間は、わずか一週間弱限りの準備をして甲子園に向かった。主に行った事は体重管理だろう人によっては5キロ近く減った。体重を戻すために活躍したのはやはりプロテイン。プロテインのおかげで体重が増えた人もいた。やはり我々とプロテインは切っても切れない関係にあるのだろう。初めは開会式だった。開会式の2時間前に空調が大して効いてない、蒸し暑い部屋に出場校のメンバーが集められた。熱すぎた。いやマジで熱いから。あーーもう思い出すだけでムカついてきたわ。この話し方もう止めるわ。蒸し暑すぎだろ。なんだよ入る前に渡されたペットボトル５００㎖のアクエリと、２００㎖の水？常温じゃねーかよ。トイレ2個しかねーし待ってる列長すぎんだよ！汗びっしょりすぎていざ始まった開会式に集中できねーよ。フラフラっとぶっ倒れちゃうよ？智弁和歌山はゴツすぎだわ。有明で身長1番高くて１７９ぞ？なんだよ１９５って巨人？高すぎだわ。見上げて首痛いわ。人が多すぎて筆者軽く人酔いしたわ。：と。まあ愚痴はこの辺にしておいて、待ちに待った1回戦の立命館宇治戦（京都県）皆も知っての通りの逆転。９回２死満の場面から有明の韋駄天こと永田晴輝（１８歳）のタイムリーツーベースで逆転。そこから3盗にも成功したりで一挙４得点。見事勝利した。見どころは

これだけではなく、斉藤・工の投球や、2死満塁を作った2年生コンビ（山﨑・新谷共に(17歳）そして追加点打を放った栄井彰（18歳）の活躍も見返してみて欲しい。この試合から有明旋風が始まったのだ。続いて2回戦。長崎日大（長崎県）との試合だ。同じ九州圏の高校ということで、同じ故郷の友達が相手側のベンチにいる、なんてこともあったりした。そんな負けられない戦いでまたしても逆転劇を演じた。相手のエラーの間に今までに鍛えたスプリント能力を活かして得点。足の速さを魅せた。盗塁を決め、ホームでセーフになり、余裕と言わんばかりの顔で得点を挙げる永田晴輝に驚く相手ベンチの顔が非常に印象的であった。そして守備でも躍動した西山享太郎（18歳）。熱闘甲子園公式アカウントにも取り上げられた爆肩を魅せた。



（通称/西山砲）そして3回戦前にアクシデントが起きてしまった。試合前に選手のスイングに巻き込まれて工修哉（18歳）が骨折してしまった。斉藤・工のW左腕で勝ち進んできた我が校にとって手痛い離脱となってしまった。



そんな中迎えた3回戦。東日本国際大昌平戦（福島県）。相手も甲子園初出場の高校で、お互い初ベスト8を賭けた試合となった。アクシデントで負傷した工に変わり、斎藤が先発を務めきった。9回1失点の完投。そしてそれに応えるような野手陣の攻守が冴えわたった。特筆すべきは廣沢遼太朗（18歳）だろう。1年の秋からレギュラーとして出ていたものの、2年の秋からレギュラーを外れてしまった彼は諦めずにひたむきに努力し続けた。その努力が実り、好投の斉藤に応えるような見事な逆転打を放った、もはや安定の逆転劇。動画はSNSに上がっているのでぜひ見返して欲しい。この逆転打もあり、チームは1−4で快勝した。準々決勝は健大高崎（群馬）戦。はこれまでのような逆転劇とは打って変わってエース同士の投手戦となった。スコアボードに並ぶ0。9回2死満から斉藤がインコースに投げて奪った見逃し三振は皆の記憶に残る一球だっただろう。

10回のタイブレークまで持ち込んだ試合で僅かに差が出てしまった。有明の守りで永田が投げたワンバウンドでの本塁送球も僅かに間に合わなかった。今大会から導入されたビデオ検証でも覆らず、0−1でのサヨナラ負けが決まり、旋風は止んでしまった。ここでミラクル有明は終わってしまった。今大会を通じて有明の8強入りは1963年以来となる快進撃となった。チーム打率は1割8分5厘と8強の中では最低なものの、盗塁数はトップ。永田を筆頭に、機動力を生かした攻撃が光った。チーム防御率は0．99。斉藤・工の投手陣を筆頭に、守備の有明といえる素晴らしい数字を残した。3746校の中の49校が出られる甲子園。その49校の中の8校に残れたことは人生においての誇りになるだろう。走り抜けた2年半の中の1ヶ月間。甲子園という舞台に立てたことが今では夢のようだ。しかしその激動の記憶を忘れることは決してないだろう。



甲子園はどんな場所だったのか感想を聞こう!!



斉藤 遼太郎(さいとう りょうたろう)
ずっと目標としていた甲子園という場所でみんなで四試合もする事ができてよかったです。エースとして全試合で投げさせてもらう事ができたし全国レベルのバッターと対戦できて自分の自信になりました。応援ありがとうございました。



西山 亨太郎(にしやま きょうたろう)
小さい頃からの夢の場所だった甲子園という舞台に4回も立って試合をすることができて本当に幸せな時間でした。何回も悔しい思いして涙して最後に今までやってきたことが報われてよかったです。今までサポートしてくれた方々応援してくれてありがとうございました。



永田 晴輝(ながた せいき)
小さい時からの夢だった甲子園に最高の仲間たちと行けたことがとても嬉しかったです。1番バッターとして全試合に出場してレベルの高いピッチャーと対戦することができ、甲子園を通してたくさんの経験ができたので次のステップでもこの経験をいかして頑張ります。甲子園まで足を運んでたくさんの応援をしてくださりありがとうございました。



十文字 彩輝(じゅうもんじ さいき)
このメンバーと甲子園で4試合もできて良かったです。甲子園でプレーできたことは一生の思い出です。広島を離れてこの高校を選んで良かったです。暑い中ご声援ありがとうございました。



實田 聡志(さねだ そうし)
新チーム結成後からうまくいかないことのほうが多くて個人個人たくさん悩んだと思います。そこから這い上がって来れたのは、全力でサポートしてくれた家族や先生たちがいたからだと思います。最後に最高の恩返しができてよかった。たくさんの応援ありがとうございました



栄井 彰(さかい しょう)
甲子園目指して野球やってきて、ほんとに甲子園に出てベスト8まで戦うこともできて良い経験をすることができた。甲子園は野球人としても人としても成長させてくれる場所だった。自分達に携わってくれた方々や応援してくれた方々には感謝しかありません。ありがとう。



高橋 春喜(たかはし はるき)
2年半きつい練習に耐えて頑張ってきたこと、信じてきたことが報われた、そして最高の恩返しも出来たということが1番嬉しいです。野球を続けさせてもらえてすごく恵まれてる人生だなと感じます。本当にありがとうございました。



工 修哉(たくみ しゅうや)
去年の夏から悔しい思いをしていて、甲子園ベスト8という目標を達成することができて嬉しかったです。途中怪我あって3回戦からプレーすることができなかったけど、夢である甲子園で少しでもプレーすることができてとても楽しかったです。応援ありがとうございました!!



大迫 朔太郎(おおさこ さくたろう)
小学校から野球を始めてずっと夢見ていた甲子園に行けたことがとても嬉しかった。憧れていた場所に立って2年半どんなにきつい練習も一緒に乗り越えてきた仲間と行けたことがほんとにいい経験、思い出になった。ありがとう甲子園ベスト8まで行って色々な方に最高の恩返しができたので、次のステップでも夢に向かって頑張っていきます。



築脇 拓馬(やなわき たくま)
夢だった甲子園に行くことができてとてもよかったです。とても楽しかったしいい経験をすることができました。応援ありがとうございました。

甲子園はどんな場所だったのか感想を聞こう!!



坂口翔大(さかぐち しょうと)
両親だけでなく、応援、支援してくださった方々全てに感謝です。甲子園楽しかったです！



廣沢遼太郎(ひろさわ りょうたりょう)
チームでずっと甲子園ベスト8という目標を掲げて、毎日毎日きつい練習も仲間と一緒に乗り越えてきて、その仲間と甲子園というすごい舞台で四試合もできていい経験になりました。今まで支えてくれた人たちのおかげで自分も結果を残すことができて、恩返しができてとても嬉しかったです。これからも謙虚に努力を続けていきます。



安藤悠人(あんどう ゆうと)
小さい時からの憧れてきた甲子園でこの仲間と野球ができてよかったです。
たくさんの方々に支えられてここまで来る事ができました。大学では永田と實田に追いつけるように頑張ります。たくさんの応援ありがとうございました。



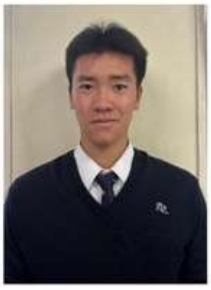
松鳥考省(まつとり こうせい)
この仲間達や保護者、色んな方の応援や支えがあったらベスト8まで行けたと思います。ただ甲子園では打席に立つ事ができなかったので、この悔しさを今後に活かしていきたいと思います。ありがとう。



若杉旭浩(わかすぎ あきひろ)
チームの目標であった甲子園ベスト8と言う目標を達成することができました。そこで得られたことは、勝つ喜びよりも、仲間とともに切磋琢磨してきた毎日の大切さだったり、ここまでは支えてくれた両親、指導者との関わりだったと感じました。応援してくれた皆様、本当にありがとう！



空見大愛(そらみ だいあ)
このチームで甲子園に行けて良かったし、目標のベスト8まで勝ち進んだ事が嬉しかった。試合にも出させてもらい、良い経験をさせてもらった。有明高校に行かせてくれたお父さんお母さんには感謝しかないです。ありがとう。



高橋一護(たかはし いちご)
まさかあの最高の舞台であんなにも多くの方々に応援されながら試合ができると思わなかったのですごくいい経験ができてほんとに良かった。
これまで親に支えてもらったのでこれからはいっぱい恩返しする。



記録員
西田颯熙(にしだ そうき)
野球を始めてから夢見た舞台に行けて良かったです。
また、マネージャーとしてチームをまとめることができたし、マネージャーになって周りのことを気づけるようになった。ほんとに感謝しかないです。



補助
田村翼(たむら つばさ)
怪我で自分の力では叶えることの出来なかった甲子園という舞台にこの仲間が連れてきてくれて本当によかった。苦しかった2年半も最後最高の形で終われて関わってくれた人に感謝しかないです。



日高岳(ひだか がく)
最後の夏をあのような形で終われたのはほんとに良かったけど、個人としては最後の夏も怪我をしてしまい両親には申し訳ない気持ちしかない。みんなありがとう！



前原飛翔(まえはら かける)
みんなを誰よりも近くから応援できてたのは楽しかったです。ベンチには入れなかったけど唯一無二の経験ができたのは良かった。



古賀煌人(こが てると)
観客が多く、一つのプレーで歓声が起きるような凄い場所に立つことができたのでよかったです。

お知らせ
引退して、髪が伸びてきたので次回からは丸刈り新聞から角刈り新聞に名前を変更します！

初国民スポーツ出場
これまで応援ありがとう！



国体（国民体育大会）。現在では国スポ（国民スポーツ大会）というべきだろうか。陸上や射的など野球だけに留まらずに様々な競技を競い合う場だ。硬式野球の部においては、甲子園でベスト8に入ってなおかつ選考を潜り抜けた高校が出場できる。そんな中、有明高校は無事に出場を果たすことができた。筆者の素直な感想としては、甲子園並みの凍りつく緊張感はなく、お祭り騒ぎに近い雰囲気の大会だったと思ってる。試合の2日前から前乗りで青森にいたので、合計3日間。どうしてこの感想に行き着いたのかゆっくり話していこう。そもそも青森に行くまで、2班に分かれて向かうことになった。1班は飛行機を羽田空港で乗り継いで青森へ。もう1班は夜行バスで向かった。筆者は飛行機で行くことになったが、飛び上がる時、着陸する時の怖さといったら筆舌に尽くしがたい。筆者は飛行機が少し苦手なのだ。ここで夜行バスで向かった古賀煌人（18歳）にコメントいただこう。古賀さん？夜行バスはどうでしたか？「ケツが痛すぎて死んでしまう。横になれないし、はっきりいうけどもう2度と夜行バスはごめんだね」なるほどです。今後の参考にしますね。さてそんなこんなでたどり着いた青森。荒尾と比べると空気がカラッとしていて風が強く、日中でも上着が必須なくらいだった。ホテルの方に伺うと、12月の終わりには雪が2メートルほど積もるらしい。泥を混ぜたミニ雪だるまを作る私達から見れば羨ましい話だ。たぶん。そうして、青森の高校のグラウンドを借りながら練習したり、実際の球場で練習を中で、ホテルに戻ってきた時、衝撃の光景が広がっていた。一回戦の対戦相手、花巻東高校が同じホテルにいるではないか。はっきりいってとても気まずい。「あれって有明の〇〇くんじゃね？」とか「花巻東の〇〇くんデカいな…」と双方から声が聞こえてくる。そして迎えた花巻東の試合で、ついに筆者こと坂口翔大が先発を務めた。先発を告げられたのは、青森に行った直後で、その時から心臓の高鳴りが止まなかった。試合においては、初回からランナーを出すも、ピンチの場面では、抑える粘りのピッチングを我ながら見せ、普段は5つあるはずの変化球はこの時ばかりは2つしか使えず、正直なんで抑えれたのかがわからないままだった。自己最速の130キロ更新することなく国体で言う場所に似合わない。最速126キロを計測した。国スポは甲子園と違って、7イニング制の短い試合。結果としては5－0で敗北を喫した。高校野球での最後の大会。あっという間に7イニングが終わってしまった。悔いは残らなかったと言えば嘘になるだろう。なぜならば負けたのだから。悔しい。悔しくてならない。だが最後にいいものを見れたと思う。プロスカウト注目だったり、U18に選ばれた選手たちをこの目で見れたのだから。この経験を糧にして、また努力を続けたい。いつか花が咲くと信じて。

追記
なぜ試合に負けて夜8時くらいに帰ってきて、次の日の早朝6時半にホテルを出発したのですか…！観光したかった…青森のリンゴ…食べてないです…誰1人として！